

世田谷

ファミサポ通信

世田谷区ファミリーサポートセンター

開所時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城 6-3-10 3 階

電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：<http://www.setagayashakyo.or.jp/>

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。



第 8 号

平成30年2月

『ヒヤリハット』をご存知ですか？

ヒヤリハットとは…



危険な目に遭いそうになって、『ヒヤリとした』、『ハットした』出来事のこと。重大な事故に発展したかもしれない危険な出来事のことをいいます。観察力が鋭く、気づきが多い人ほど、“ヒヤリ”としたり、“ハット”としたりする体験が多いといわれています。

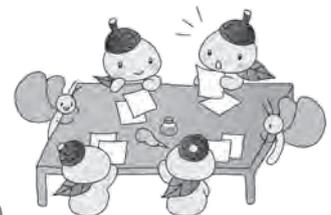
「ハインリッヒの法則」

1930 年代、アメリカのハインリッヒが労災事故の発生率を調査し、1 件の重大事故の背後に 29 件の軽微な事故があり、さらに 300 件の事故につながりかねない、いわゆる「ヒヤリハット」の事象があるという「ハインリッヒの法則」を発表した。

世田谷区ファミリーサポートセンターでは、援助会員の皆さんからご報告いただいたヒヤリハット体験をさまざまな機会でも共有しています。

重大事故を事前に防ぐためには、多くのヒヤリハット体験を集め、そこから問題点を洗い出し、防止策を立てる必要があります。

また保護者の方は起こりがちなヒヤリハット事例について、お子さんへの注意喚起をお願いします。



今後も皆さんからいただいた事例を活用し、安全対策を図っていきますので、報告書裏面での報告をお願いいたします。

ファミサポで特に多いヒヤリハット事例（平成29年4月～11月分）

活動中は
目を離さない！



手をつなく！

全体…**81**件

送迎中に急に走り出す…**25**件

（このうち、お友達を見つけて走り出した事例が **11** 件）

会員交流会を開催します！

【世田谷地域】「イヤイヤ期の子どもへの声かけ法」

靴を履かせようとしたら「いやっ!」、公園から帰ろうとしたら「いやっ!」。こんな経験はありませんか？子どもは1歳半を過ぎると、何にでも「いや!」という“魔のイヤイヤ期”を迎え、かかわる人もついイライラしがち。

子どもが自分の気持ちを伝えることができ、イヤイヤ期の子どもに笑顔で接することができる「声かけ法」を、この講座で一緒に学びましょう。



行本 充子氏

日時：平成30年3月8日（木）9：45～11：30

場所：三茶しゃれなあどホール5階オリオン

講師：一般社団法人 乳幼児子育てサポート協会

ゆくもと
行本 充子氏

会員交流会を開催しました！

【北沢地域】「たたかない、怒鳴らない子育て」

平成29年11月21日（火）公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの瀬角氏、西崎氏を講師にお迎えし、「たたかない、怒鳴らない子育て（ポジティブな子育て）」についての講演をお願いしました。

会員交流会やフォローアップ研修等のアンケートで多かった「子どもへのかかわり方について研修をして欲しい」というご要望に応じ、今回実現することができました。参加された皆さんからは、子どもの立場に立った伝え方を考える良い機会となった、といったお声をいただきました。



【玉川地域】「クリスマスコンサート」

平成29年12月12日（火）、多数のメディアでご活躍の柳光絵さんをお迎えし、クリスマスコンサートを開催しました。当日は多くの会員の方とお子さんにご参加いただきましたが、柳さんの素敵な歌声に一同魅了されました。

また、お子さんも歌えるクリスマスソングを参加者全員で歌ったり、ファミサポ職員がトナカイやサンタに扮して歌を歌ったりと、心温まる素敵なコンサートになりました。

柳光絵さんから
ハートフルボイスの
クリスマスプレゼント♥



ファミサポからのお知らせ

★ 援助会員の皆さんへ ★

【活動報告書について】

報告書の提出がないと正式な活動として把握されず、事故が発生した際に保険対応ができません。活動月の翌月の3日までに、報告書提出をお願いいたします。

また記入漏れと返信用封筒の期限に注意してください。(期限切れの返信用封筒をお持ちの場合はご連絡ください。後日センターから期限内のものを郵送します。)

★ 利用会員の皆さんへ ★

【謝礼金・キャンセル料について】

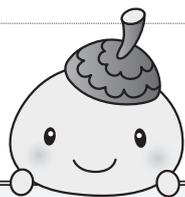
援助会員さんから謝礼金に関するご相談がたくさん寄せられています。

お子さんをお預かりする際に当日のお子さんの様子を伝える時間とお預かりを終えて活動中の様子を伝える時間も活動時間に含みます。

また利用予定日前日の17時以降はキャンセル料金が発生します。(1時間分の料金)

謝礼金については援助会員さんからは言い出しにくいものです。良いお付き合いが続けられるよう、支払いは滞りのないようお願いします。

利用会員さんも援助会員さんも対等な立場です。
お互いに約束したことを守り、信頼関係を大切にしてください。



下記の店舗は、「子育て支援者養成研修」等のチラシ配布にご協力いただいております。

・ サミット株式会社 ・ 世田谷区内郵便局 ・ 世田谷信用金庫

※世田谷区ファミリーサポートセンターでは、広く援助会員になってくださる方を募集するため、「子育て支援者養成研修」等のチラシ配布やポスター貼付にご協力いただける個人宅や店舗を探しています。お知り合い等でご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。よろしくお願いたします。

地域で活躍中！



インタビューをしてきました！

お子さんの笑顔が原動力！

☆ 援助会員 小熊 由美子さん

長年、保育園の非常勤職員として、子どもに携わる仕事をしていました。しかし、数年前に年齢的・体力的に厳しくなってきたので、身をひきました。

そのあと、家にいるだけでは寂しいし、子どもたちのために自分の出来る範囲内で何かできないかなぁと考えていたところ、町会の回覧板で【ファミサポの養成研修受講生募集】の記事を見つけました。

無事に研修を終えて、初めて利用会員にお会いする事前打合せで、育児の状況等を色々話していただき、正直、私にお手伝い出来るのかなぁと不安もありました。しかし、活動を重ねていく度に、お子さんの笑顔や利用会員の感謝の言葉などで喜びが増し、活動への自信にもつながりました。

今まで一番嬉しかったことは、「小熊さんに逢えてよかった～」とお母さんに言ってもらったことです。思わず、涙がでてきました。号泣してしまいました。

ファミサポでの援助活動は、お子さんが懐いてくれたり、パパとママと一緒に子どもの成長が見守れる、こんな幸せなことはありませんね。活動の前の晩は嬉しくてワクワクするんですよ。この活動は、皆さんに是非やってみてほしいです。

☆ 利用会員 宮澤 美和さん

最初に小熊さんにお会いした時、この人にならお任せできると直感しました。産後ずっと体調がすぐれず、泣きながら育児をしていた時に、小熊さんは、元気に登場してくれました。その明るさに久しぶりに気持ちが華やいだのを覚えています。小熊さんは何も言わずに私たちを見守ってくれるので、地域の人の温かさを感じました。

先日、小熊さんと一緒に歩いていたら、お子さんを連れたママが小熊さんに声をかけていました。「久しぶり～。大きくなったね～」と話している姿をみて、私も小熊さんとこの地域ですっというお付き合いができたらと願っています。

